



災害看護論演習



無線通信



シナリオはありますが、初めての無線は、難しかったです。 学生A

基礎行動訓練



大きな声を出し、集中して行動し、団結できました。 学生B

9.14.(金)

3年生は、災害看護論演習を行いました。災害の少ない岡山でも、今年7月の豪雨災害の被害を受け、地震、台風等、自然災害などの脅威を感じました。今年の災害看護論演習は一層真剣さが増しました。

気持ちと力を合わせて
1・2・3！



救護所設営

テント設営
ベッド設置
の基本も
習いました。



担架操作法



傷病者を体験し、対応をして
くれた3年生の声掛けに
とても安心できました。災害
時のこころのケアの重要性
を実感できました。2年生

9.14.(金)



午後は支部・病院職員の協
力を得て、地震を想定した総
合訓練を行いました。1年生
は見学、2年生はビブスをつ
けて傷病者役になりました。



訓練途中で流れを中断し、
協議・相談の時間を設定し
ています。



あわてる場面が多く、
想定通りにはいかない
ことが災害だと学
びました。学生C



各役割ごとに振
り返りをしました。

周囲の状況を見て、自分がやるべきこと、
できることを総合的に考え動くことが求め
られると学びました。学生D



災害現場では、看護師として傷病者が適
切な治療が受けられるように医師の手助
けを行い、傷病者・家族のメンタル面での
サポートを行うことが大切だと学びました。
学生E

